

ネット・トラブル

子どもの
どう防ぐ?

初代iPhoneの発売からはや9年。市場にスマートフォン(スマホ)が普及して久しい。販売

会社の戦略もあつて、2年ごとに最新機種で乗り換えるのがコスト的に有利な現在の日本市場では、かなりの頻度でスマホの廃棄機種が出てくる。

ここでその是非を論じる気はない。ただ小中学生のいる家庭にとって、この「廃棄されたはずのスマホ」が「親に全く知られないままLINEやフェイスブック、写真投稿、動画投稿を行う」ト

ラブルの元凶になることを認識してほしい。

なぜこんなことが起こってしまうのか、理由は簡単。「スマホはパソコン」であり、SIMを抜いても家庭の無線LANにWi-Fi接続すればそのまま使えるからである。

普通、携帯電話やスマホはSIMというチップを装着し、電話会社からの電波により「電話機」として認識されている。機種変更をする際はそのSIMを抜き取り、新しい端末に入れ直すので、古い端末は一見「使えな

くなっている」ように見える。
しかし、Wi-Fi回線を使うことができれば、古い端末は「ネットに接続しているパソコン」

スマホはパソコン

古い端末でも機能は確認



S. TSUDA

でしかない。そうなれば現代っ子は、あつと言う間にさまざまなサイトへアクセスし、動画視聴はもちろんLINEやフェイスブックへの参加も簡

単にやっつけてのける。

更に怖いのは、これと同様なことが、携帯型音楽プレーヤー、携帯型ゲーム機でも言えるということだ。

SONYウォークマンZシリーズ、「iPod touch」第3世代以降などは、中身はスマホと同じであり、LINEもフェイスブックもできる。ゲーム機であるプレイステーション・ポータブルやニンテンドー3

DSでもネットの閲覧ができ、掲示板への書き込みもできてしまう。

誤解しないでいただきたいが、この行為自体が「悪い」わけでは決していない。ただし、大人が子どもに「カメラ程度しか使えない」と渡した古い端末や、「ウォークマンなら」と買ってあげた音楽機器でも、条件さえ整えばどんなことでもできてしまう場合があることを知ってほしい。

大切なことは、機器類を子どもに渡す前に、保護者が最低限の特徴や機能をつかみ、その上で子どもとじっくり話し合い、使い方や利用方法を相談していくことではないだろうか。